

第9回宮津まちづくり会議

日時：平成27年6月16日（火）16：00～17：30

場所：宮津商工会議所 大会議室

1 協議事項

1) 委員の承認について

公共交通事業者の変更、行政の人事異動に伴う委員の交代について承認

2) 平成26年度事業報告について〔資料1〕

⇒異議なく承認

3) 平成27年度事業計画について〔資料2〕

⇒異議なく承認

3 報告事項

1) 5/2 実証実験「宮津満腹祭」について〔資料3〕

【質疑応答】

- ・今回の課題を踏まえ、次回以降、中間報告や5/2 満腹祭の結果が反映されていくのか。
→反映させていく。例として、まだ明確ではないが、中間報告実証のため海鮮井やのつけ井の提供を検討している。
- ・反映しないと実証実験にならない。集客の実証だけにしかない。次に活かさきれない。とってつけたような感じがある。知りたい部分が分かり難い。全部実証すると言うと苦しくなるので、一つ一つでも良いので取り組むべきなのではないか。
→5月反省点については、先日の事業化ワーキングでも共有しており、7月の実証実験に向け、中間報告の中から3つ実証していく目標と各回テーマを設けて企画していくこととしている。
→市民・近隣住民をターゲットとする地域振興拠点を目指していくには、そこをしっかりと見据えた店舗のあり方を調査していくべき。
→については、6月の宮津まごころ市との共催のトマト祭は、市民・近隣住民をターゲットとし、また、5月に比較的売れていた農産物にフォーカス、また旬であるトマトをテーマとし、販促方法などを調査していく。
- さらに、7月に向けた準備企画であることも位置づけ開催していきたい。
- ・前は関係者に呼びかけて、みんなが意識して来場してきた。今後は、どうアナウンスして集客させるか手段を考えるべき。広報はチラシとポスターが大半だが、常にやるには手

間と費用がかかる。メルマガなどでネット配信できるようシステムを取り入れていくことも効果的ではないか。

→Facebook において、満腹祭のページを開設している。今では、200 人弱の「いいね！」をいただいております、一回記事を投稿することによって、約 1,000 人の方が見ている。

→他にも、地元 FM (FM たんご) や宮津メディアセンターによるインターネット動画での宣伝、無料掲載が可能な北近畿の情報誌の編集部にも常にイベント情報を流している。これら広報ツールは、今後も積極的に活用したい。

【主な意見】

- ・次回アンケートには、お越しになった交通手段も調査していただきたい。
- ・前回満腹祭と併せて、P&C を実施した。浜町立体駐車場には 960 台の駐車があり、2 回転した計算。
- ・宮津発のクルーズにも、530 人 (2 日)、1,230 人 (3 日)、1,470 人 (5 日) 乗車。500 人乗ればペイできるとも聞いている。
- ・7/18 (土) からの 4 ヶ月間 (海の京都博期間)、浜町立体駐車場に駐車してもらうための取組を実施していく。これに満腹祭を絡めたい。
- ・満腹祭については、月 1 回だけでなく、もっと多く開催するという流れを作ってほしい。事業者の方に協力してもらいたい。
- ・メディア戦略は重要。ノオト (篠山市) も日経新聞等で取材を受けており、うまくコマースャルしている。人脈を生かしてタダでコマースャルすることも必要。ラジオ等も活用してリピーターづくりが必要。
- ・青年部では、地域と連動した取組をしようとしている。11 月に実証実験も兼ねる形で出来ないか提案している。是非注目してほしい。
- ・前回の満腹祭については、時間がない中で出店者に中間案の実証を働きかけていたことは理解しているが、まだまだ余地があるのではないか。
- ・例えば、今回出た売上額は十分ではないと感じている。営業として成り立つ形態を検証する必要がある。
- ・今回は、ファミリーをターゲットとしたが、夕暮れ時からお酒を出す等、若者向けに開催したらどうなるか？音楽や男女の出会いの場づくり、様々な形が考えられる。一つのやり方に囚われずに、様々なやり方にチャレンジするチャンスである。
- ・実証実験のデータは、経営マネージャー着任時の参考になればと思っている。
- ・5 月の満腹祭は、へしこチャーハンとちくわ体験だけは良かった。
- ・農水商工観連携会議とも連携し、地元の方が喜ぶものがないと、集客はできない。
- ・喜んで食べて、感動を与えることが重要。総動員で連携してやってほしい。

以上